

国内初の大学病院内における公的保険外リハビリテーション施設をオープン 医療機関との連携によりシームレスなリハビリ・サービスを提供し、 新たな事業モデルの構築をめざす



「フィジオセンター」施設内の受付エリア(写真左)とトレーニング室内(写真右)

三菱HCキャピタル株式会社(代表取締役 社長執行役員:柳井 隆博/以下、当社)、インターリハ株式会社(代表取締役社長:柏木 哲夫/以下、IRC)および株式会社 iMARE(代表取締役:岩館 正了/以下、イマレ)が共同出資する株式会社リプレ(以下、リプレ)は、本日、東京慈恵会医科大学附属病院(以下、慈恵医大病院)内において、公的保険外リハビリテーション(リハビリ)施設「フィジオセンター」をオープンしたことをお知らせします。大学病院内に設置される公的保険外リハビリ施設としては、今回の「フィジオセンター」が国内初となります。

昨今の急速な少子高齢化により、社会保障財源が逼迫するなか、公的保険の適用範囲は縮小傾向にあり、十分なリハビリを受けられない「リハビリ難民」が増加したことで、政府は、その課題解決に向けて、公的保険外サービスの発展・充実を推進しています。

このようななか、当社は、市場黎明期にあり、今後の拡大が期待される公的保険外リハビリ事業への参入を目的に、リハビリ機器の輸入卸として全国の大学病院や事業者との強固なネットワークを有するIRC および介護領域でリハビリ事業を展開するイマレとともに、本年5月31日にリプレを設立、このたび、「フィジオセンター」をオープンしました。

「フィジオセンター」は、医療機関との連携により、利用者に対して、公的保険内外の一連のリハビリをシームレスに提供、その効果の最大化を図ります。臨床経験豊富なセラピストがアセスメントを実施するとともに、希少な最先端リハビリ機器を活用、利用者データを多変量解析技術により分析し、その分析結果から治療効果の定量化、手技の標準化・最適化を実現することで、セラピストの属人性に依拠しないサービスパッケージの構築をめざします。

当社は、「フィジオセンター」のオープンを契機に、リハビリを必要とする方々のニーズに応えた、回復期領域での事業展開を加速化するとともに、公的保険外リハビリが広く社会に認知・評価される新たな事業モデルを開発することで、リプレが掲げる「人がよりよく生きる社会」、ならびに、社会・経済の活性化、SDGsの実現に貢献していきます。

当社グループは、「社会資本／ライフ」を注力領域の一つに掲げ、事業を通じた、豊かな暮らしの実現に向けた価値の提供を行っています。今後とも、パートナー企業とともに、絶えず変化する社会やお客さまのニーズに応えることで、社会的課題を解決し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

■株式会社リプレの概要

社名	株式会社リプレ
代表者	代表取締役 瀬下 晋
所在地	東京都港区西新橋三丁目 19 番 18 号 東京慈恵会医科大学附属病院 E 棟 2 階
設立年月日	2021 年 5 月 31 日
事業概要	公的保険外におけるリハビリテーション全般
資本金	50 百万円
株主	インターリハ株式会社 60%、三菱HCキャピタル株式会社 35%、株式会社 iMARE 5%

■フィジオセンターの概要

名称	フィジオセンター
所在地	東京都港区西新橋三丁目 19 番 18 号 東京慈恵会医科大学附属病院 E 棟 2 階
営業時間	10:00~19:00(月~金) ※土日祝は休業

■報道機関お問い合わせ先

三菱HCキャピタル株式会社
コーポレートコミュニケーション部
〒100-6525 東京都千代田区丸の内一丁目 5 番 1 号
TEL 03-6865-3002 (直通)

以上